

平成 30 年度 読書推進の成果

校名 妙高市立新井北小学校	活動名 ・校内読書週間・旬間活動 ・図書ボランティアの活動	対象 全校児童
実施日 平成 30 年 6 月～ ～平成 31 年 2 月	ねらい ○読書週間の活動を通して読書活動を促し、読書に関する興味や関心を喚起し、読書に親しんだり意欲を高めたりする。 ○居心地のよい‘本を読みに来たくなる’ように、図書室の環境を整える。	

【春の読書週間 6月13日(水)～6月19日(火)】

①朝の全校読書

②おすすめのブックカード(学級での取組)

自分が紹介したい本を絵と文でまとめたカードを教室廊下に展示し、新しい本との出会いのきっかけになった。

③図書委員会の活動(好評により、昨年度に習う。)

- ・読書ビンゴ
- ・読書クイズ

④なかよし読書会(6月15日)

縦割り班のメンバーに、高学年が自分のお勧めの絵本や紙芝居などを読み聞かせた。



【秋の読書旬間 11月13日(火)～11月27日(火)】

①朝の全校読書

②読み語りジャックの会による読み聞かせ(11月24日)

上越「ジャックの会」の方々から、上下学年に分かれて読み語り会を実施してもらった。

③図書委員会の活動

- ・しおりづくり(11月15日の昼休み)
- ・読書郵便

④親子読書(家庭での取組)

親子で同じ本を読み、感想を紹介し合う。カードに感想を書き合い、親子・家族で読書を楽しんだ。

【冬の読書旬間も計画中】

【図書ボランティアによる環境整備・読書活動への協力】

図書委員会を中心に本の整理を呼び掛けていたが、本棚の本が乱雑になっていた。図書ボランティアの発案で、本棚の空きスペースを埋めて本が倒れないようにすることになった。ボランティアが集まり、牛乳パックを利用したブロックを手作りし、乱雑になりやすい本棚に入れた。楽しい装飾にも子どもたちは興味津々。そして、ブロックを潰さないように本を本棚に入れるようになったため本棚が整い、図書室らしさが増した。また、本の分類を分かりやすく図化した図書室の案内図を作成してもらい掲示したため、図書室の機能が高まった。季節に合わせてつくってもらった掲示物で雰囲気もよくなった。このように、図書室の気持ちのよい環境づくりに協力してもらった。



本年度は、図書ボランティアの人数も増えた。読み聞かせを含め、それぞれがやりたいことに進んで取り組んでもらうことで、ボランティアも楽しみながら子どもたちの読書活動を大いに支え、サポートしてもらっている。

